

---

# みんなでIMO作戦プランを

サツマイモ資料館 山田 英次

---

## 1. まずナガーイ眼の発想も

農産物の輸入自由化問題への、差し迫った対策として、いも類の需要拡大推進事業を展開することは、充分納得できます。しかし、サツマイモの将来を考えると、短期的視点でなく、長い眼で将来の有り方を考える必要があるのではないのでしょうか。危機感のある今こそ、現在のイモ農業を救う方策をとりつつ、従来の固定観念にとらわれず、柔軟な発想をいろいろとり入れ、長い視点を確立すべきではないのでしょうか。

## 2. IMO作戦をたてよう

まず、当面のサツマイモ消費増進運動を推進したり、将来的に長期の考えを確立するためには、どうしたら良いだろうか。それには、官民学+α（消費するおばさん達）のみんなでIMO（イモ）作戦をたて、きちんと実行するよりほかは、ないのではないのでしょうか。

すなわち、IMO作戦とは――

I……いい人達が集まって、アイデアを出しあって、イモをよりイメージアップさせ、

M……更に、イモで社会に役立ついろいろなモノを生み出し、

O……ついでに、イモでお金を儲けるか。ということです。つまり、第一に「良い人材をとにかく集める」。そして良い考えをたくさん出してもらう。イメージアップの活動をしてもらう。第二に、その考えをまとめて、イモで「社会的に必要なモノ」を研究者や生

産業者につくってもらう。第三に、それを上手に売って「お金を得て経済的安定をはかる」ということです。

この三つの柱をたて、具体的に作戦プランをつくっていけば良いのではないのでしょうか。

## 3. イモへの期待はナ～ニ

では、ここでサツマイモの将来への期待はなんでしょうか。将来の目標は三点あると思います。

### ①健康食として――消費者が注目――

現在の飽食時代のなかで、成人病予防のために食生活の見直しがすすんでいます。イモ資料館で各種サツマイモ製品を展示していて、一般の人達の反応は、「サツマイモは健康にいい」というイメージを強く持っていることです。このイメージを大事にして、より多くの食情報を流し、それに伴って製品を販売することが必要ではないのでしょうか。九州農試の梅村先生は、サツマイモの三ポイントとして「ヘルシー・ナチュラル・センス」と言われていますが、これは消費へのイメージ戦略として大事なキーポイントです。

また、二年前に、マウス実験でサツマイモの「ガン抑制作用」が学会で発表されて話題になりましたが、これなども忘れてはならないことです。

### ②品種別による多様な利用法――業界の人が興味――

ここ数年いろいろな新品種が登場し、加工業者の人達が関心をしめています、状況

として話題性のみ提供といった感が強いと思われまふ。これなどは、研究者・生産者・加工業者・消費者といった厚い層のなかでアイデアを出しあい、まとめ上げていくという作業がないとうまく軌道にのらないのではないのでしょうか。いずれにしても、品種別による加工特性の研究開発は、お金と人材を投入して進展させなければならないことです。

### ③未来食糧として——研究者が努力——

世界的な人口増加に対する食糧危機克服の作物として、サツマイモが期待されていると聞きます。よって、幅広く安定的に栽培でき、主食としても充分対応でき、且つ栄養的にもバランスのとれた理想のサツマイモ品種の開発をすべきではないのでしょうか。ひとつの夢でしょうが、サツマイモにも大きな夢をもつべきです。

それと、サツマイモは宇宙食としても期待されています。「宇宙農場に向くサツマイモの品種とは」「宇宙でのサツマイモの調理や利用法は」など沢山の課題があると聞きます。アメリカより情報を得ると共に、サツマイモ研究ではトップレベルの日本が、将来を見越して開発に力を入れるべきではないでしょうか。

## 4. イモ文化は三層ある

作物の問題や文化を語るとき、私達はどうしても生産地のみに眼がむいてしまいます。しかし、ここで「イモ文化の成立の構造を考えれば三層ある」ととらえた方が自然ではないのでしょうか。すなわち、

- ・ハードのイモ文化→原料生産や加工技術に重点がおかれている地域。例えば、鹿児島や茨城など。

- ・ソフトのイモ文化→利用方法や調理法

に重点がおかれている地域。これは各地にあると思いますが、例えば川越などもその一つ。

- ・ユースのイモ文化→イモ商品の消費に重点がおかれている地域。すなわち大都市。またはサツマイモで言えば、非生産地の北日本地区など。

この三つのイモ文化をとらえて、対策を考えるべきではないでしょうか。

## 5. イモ食品の発想式など考える

私達は、イモの問題ならイモ単品のみに頭がいてしまい、自然と幅広く考えなくなってしまうようです。そこで、勝手に発想式などを考えてみました。いくらか参考になるでしょうか。

T……対象層（子供向・女性向・高令者向・男性向・観光客向・病人向などにわかれる）

C……消費傾向（どのくらいその対象層の人が消費してくれるのか）

I……イモ  
M……他の材料（モノ）  
O……独創性（オリジナリティー）

$T \times C \rightarrow I + M + O = ?$

例えば観光地「川越」では、観光客の昼食として、イモ+魚貝類+懐石料理=いも懐石。麵好きの多い土地柄でもあるので、地元人が食すると共に土産品としても、イモ+小麦粉+麵文化=いもうどん・いもそうめんなど。このように考えれば、オイモをあまり食べない子供達には、その嗜好を考えて、イモ+乳製品+アイス=いもアイス、イモ+フライ+ゴマ塩=フライドポテト風（ハンバーグのつけあわせ）など。

また、広く一般向けのおやつ製品として、

## バレイシヨ増収一〇〇〇問答

■三百回余りの講演で、いも作従事者からいただいた千四百余の質問を整理し、これに回答。基本から植付け、収穫・防除までを解説し、厳しさが加わる現代農家に大きな指針を示す好著。北大助教授・吉田稔著 定価七〇〇円 送料二五〇円

## 清薯源流の砦

■現在の種苗管理センターのいも作関係は、昭和二二年に創設された「馬鈴しょ原種農場」がその出発である。各農場の歴史と現況を報告した本書は、関係者必携の好資料。各農場職員名簿付。いも類振興会編・定価七〇〇円 送料二五〇円

## 21世紀に向けてのいも作り

■生涯を北海道のバレイシヨ作に投入した著者快心の著作。その視野は需要者の品質要望から国際競争力まで、魚眼レンズのようにひろがり、イモ作従事者の今後の指針を示す。

吉田稔著 定価六〇〇円 送料二五〇円

## アンデスから食卓まで

■ジャガイモのふるさとアンデスから出発し、その料理法や品種の特性、栽培から食卓への供給までを、オールカラーで紹介。読んで楽しく、為になる小冊子。

田中智著 定価三〇〇円 送料一七〇円

## 熱帯アジアの馬鈴薯生産

■東南アジアの馬鈴しょ生産の実態を、各国のレポートから翻訳した貴重な資料。とくにシンポジウムでの発表は、わが国馬鈴しょ作に大きな示唆を与えるものである。

秋元喜弘著 定価八〇〇円 送料二五〇円

子供向のお菓子でもあり、男性のビールのつまみにもなるイモ+落花生+チップス類=？を考えても面白いのでは。更に、高令者向けの朝のメニューにイモを多くとり入れて、イモ+ミルク+朝粥、イモ+ヨーグルト類+ジュースなども面白いのではないのでしょうか。

### 6. まとめとしてIMO作戦プランの方法

IMO作戦プランを考える時、魅力となるパワーとがっちり組合せなければいけないと思います。それは、情報力・市場力・資源力・変化力の4つのパワーであろうかと思えます。よって、いままでのことを全てまとめてみれば、IMO作戦とは

- ①サツマイモの将来への期待を考えつつ、具体的な実現可能な目標を設定する。
- ②ハード・ソフト・ユースのイモ文化のネットワーク化のなかで対策をねる。
- ③IMO発想式を使って、どんどんアイデアを連発して出し合う。

④魅力パワーの情報力・市場力・資源力・変化力との組合せでプランを考えてみる。

いずれにしても、消費の拡大をして危機を乗り越えるためには、イモに関心のある人材の交流を多くし、アイデアを論議しあう場を設け、しっかりとした作戦プランをたて、資金を投じていろいろなものを開発していくより他は、手はないように思います。ぜひ、みんなで手をつなぎあって、イモ文化を向上させましょう。

### いも類振興情報 第23号

平成2年4月15日発行

発行所 財団法人 いも類振興会  
東京都港区赤坂6-10-41  
ウィップ赤坂303号室  
電話 03-588-1040  
振替・東京3-110152  
印刷所 交通印刷株式会社